



このレポートは米国で 2011 年 5 月 5 日に発行されたものです。

つながるためのデバイス: 米国におけるタブレット利用の実態

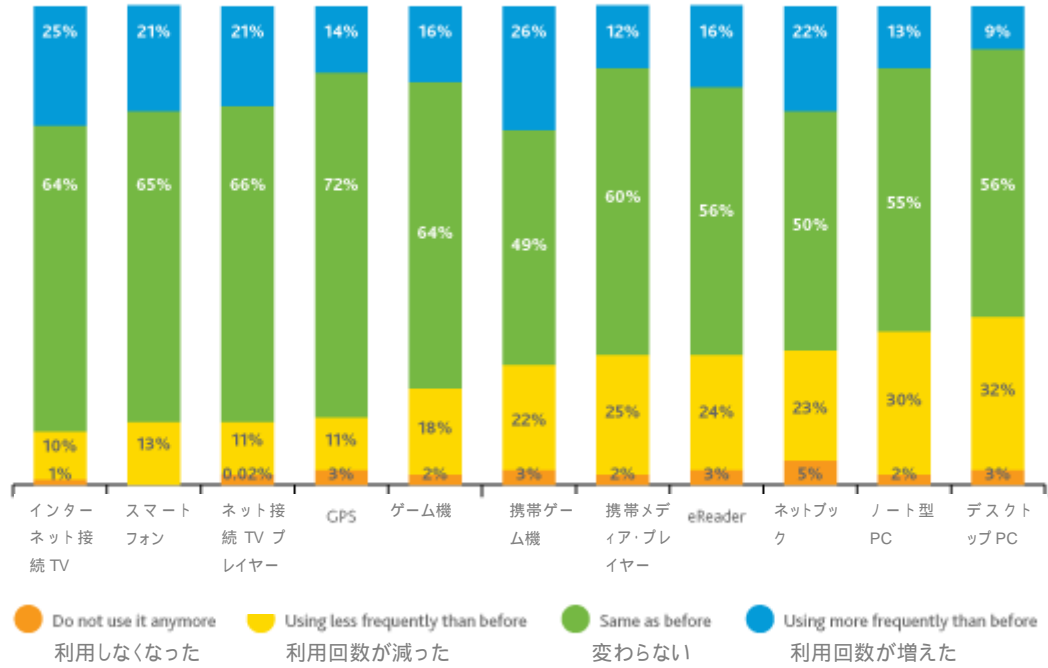
サムソンの「ギャラクシー」やモトローラの「Xoom」が新たに参入した米国のタブレット市場では、メーカーやブランド間の競争が熾烈化している。とはいえ、市場占有率や会話に挙がる回数ではアップルの iPad がまだ優位に立っている。以上はニールセン・カンパニーが発表した、2011 年春に行なわれたモバイル接続デバイスの利用に関する最新デプス調査結果の一部だ。

その他主要ファインディングス

- 全タブレット所有者の約半分が自分 1 人でタブレットを利用しており、43%は他の人とタブレットを利用している。残り 8%については所有しているタブレットは主に家族が利用し、所有者本人は利用していない。
- タブレット購入後の他のモバイル接続デバイスの利用頻度に関する設問では、タブレットに加えデスクトップ PC を所有しているユーザーの 35%がデスクトップ PC の利用が減った、あるいは利用しなくなったと回答。また、タブレットに加えノート型 PC を所有しているユーザーの 32%がタブレット購入後、ノート型 PC の利用が減った、あるいは利用しなくなったと回答した。タブレットに加え eReader(電子ブックリーダー)を所有しているユーザーの 27%が eReader の利用が減った、あるいは利用しなくなったとし、これはタブレットに加えて携帯メディア・プレイヤーを所有しているユーザーの「減った、あるいは利用しなくなった」回答比率と同一だった。タブレットと携帯ゲーム機を所有するユーザーの 4 人に 1 人はタブレット購入後、携帯ゲーム機の利用が減ったと回答した。

デバイス利用に対する影響 - タブレット

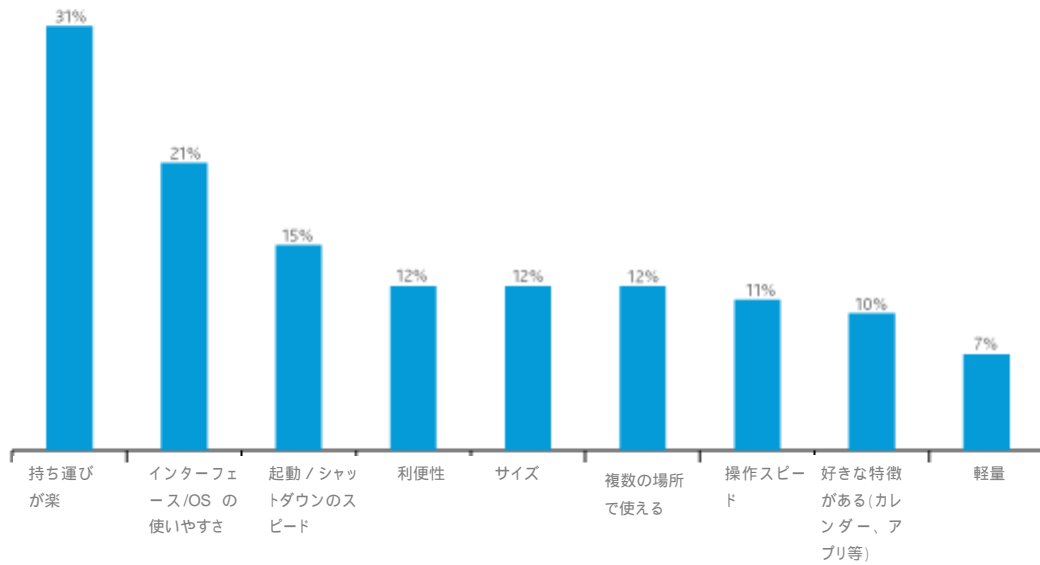
タブレットの新規購入が他のデバイスの利用に与える影響



出典: ザ・ニールセン・カンパニー2011年第一四半期モバイル接続デバイス・レポート

PC(デスクトップ&ノート型)の代用としてタブレットを利用する理由

タブレット・ユーザーの 77%は、以前 PC(デスクトップ&ノート型)で行っていた作業や活動をタブレットで行うようになった



出典: ザ・ニールセン・カンパニー2011年第一四半期モバイル接続デバイス・レポート